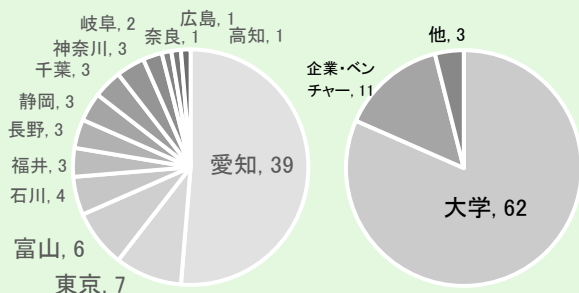


■中部支部会員76名の構成と運営体制のご紹介

EAJ中部支部の会員は現在76名です。お住まいとご所属を確認したところ、下図のような構成でした。愛知が半数を占め、北陸を中心に幅広い地域にまたがっていますが、岐阜・三重が少ないのは少々寂しいです。また、大学関係者が80%以上です。中部地区は産業も盛んな地域なので、企業・ベンチャーからの会員増加にも期待したいところです。

組織運営は12名の運営委員が担当しており、2023年1月から4名の特別顧問が加わっています（[運営体制](#)）。また、本年6月のEAJ本部の役員改選に伴い、中部支部から新たに2名の理事（伊藤みほ会員、岩井善郎会員）が就任しました。辻篤子会員は監事を続投です。

今後の支部活動へのご要望やご意見がございましたら、お気軽に運営委員にお声がけください。（川澄未来子）



中部支部会員のお住まいとご所属

■QRコードの中部レクチャーが“会員が選ぶ行事賞”を受賞

第12回日本工学アカデミー（EAJ）定時社員総会に合わせて、2023年度「会員が選ぶEAJ活性化事業貢献賞」の表彰式が開催されました。会員推薦100件余の候補の中から「会員が選ぶ行事賞」4件が選出され、中部支部は3年連続で本賞を受賞しました。受賞対象は第18回EAJ中部レクチャー「QRコードの原点と成長」です。受賞理由は「学術論文としての貢献の観点からは異例ともみなされる中、恩賜賞・日本学士院賞を受賞された本テーマはイノベーションの正に本質に迫る講演であり、参加者はもちろん、EAJの今後の活動に多大な示唆を与えると評価されたこと、研究・開発業績の価値は決して論文のみで決まらず、いかに人々の役に立つか事実をもって示し、工学分野での業績のありようと、技術開発における、オープン・クローズド戦略等、今後の日本の研究力、産業競争力の強化に向けての示唆に富んだ行事」であったと評価されたことです。関係各位のご支援とご協力に感謝します。（岩井善郎、原 邦彦）



原昌宏氏（第18回）

■20回記念の中部レクチャーはリベラルアーツがテーマ

第19回EAJ中部レクチャー（2024年2月16日開催）は 医工連携をテーマに、新谷一博氏（金沢工業大学 客員教授）をお招きし、機能性と安全性を兼ね備えた人工骨の研究開発について解説いただきました。

次回（2024年9月20日開催）は、リベラルアーツをテーマに、文化人類学者の上田紀行氏をお招きします。斬新なイノベーションや善き工学のためには、工学者の人間性が不可欠であるとお考えのもと、東京工業大学においてリベラルアーツ教育を必修化されました。倫理感や他者への思いやりをもったエンジニアを育成する考え方やご実績についてお話しいただきます。タイトルは「リベラルアーツと工学の融合、未来社会への提言」。1年ぶりの対面開催（オンライン聴講可）です。皆様のご参加をお待ちしています。

[開催案内・申込](#)

（川澄未来子）



新谷一博氏（第19回）



上田紀行氏（第20回）